

令和元年5月13日
西部農林振興センター県央事務所農業普及部大田支所

標 題 石見銀山アスパラガス生産組合の産地ビジョン実現に向けて

(ダイジェスト)

石見銀山アスパラガス生産組合は11名の組合員で構成されています。今後、面積拡大が予定されており、平成30年度には産地ビジョン「やるぜ！大田市の特産品農産物 No.1」が策定されました。この度、産地ビジョンの実現に向けた取組みとして、4月12日に試食宣伝活動、4月18日に市長贈呈を行いました。

石見銀山アスパラガス生産組合は平成17年に発足し、現在40～80代の11名で構成され、栽培区域は市内全域に及んでいます（平成30年栽培面積約51a、販売額約158万円）。今後、リースハウス事業を活用した面積拡大が予定されており、平成30年度には産地ビジョン「やるぜ！大田市の特産品農産物 No.1」が策定されました。

産地ビジョンは「儲ける経営の実践（反収向上）」「規模拡大に向けた仲間づくり（栽培面積拡大）」「安心・安全なアスパラづくり（販路開拓・ブランド化）」の3本の柱から構成されています。

この度、産地ビジョンの実現に向けた取組みの1つとして、4月12日にJAグリーンおおだにてアスパラガスの試食宣伝を行いました。当日は「アスパラガスの肉巻き」などをレシピと共に提供し、用意していたアスパラガスが全て売り切れ、大盛況となりました。また、4月18日には市長贈呈を行い、産地ビジョン達成に向けた取組みや昨年度取得した美味しまね認証の取組みなどを報告しました。

今年度はリースハウス事業を活用し、約1haのハウス建設が予定されており、販売額の増加が期待されます。今後は、水田園芸の拠点として将来の1億円産地を目指し、令和3年度には3200万円を達成する予定です。農業普及部としては、引き続き関係機関と連携しながら、産地ビジョンの達成に向けた取組みを進めていきたいと思っております。



試食宣伝の様子



市長贈呈の様子